



平成21年12月号
「烏帽子岩」



平成26年10月号
「観陽丘の夕日」

館報
まつかわ

松川町公民館報
第648号
平成29年10月15日



平成26年8月号
「馬坂と宮ヶ瀬橋」



平成22年10月号
「山ツツミ静寂」

しれる秋

第28回 松川町音楽祭



9月24日、松川町民体育館で第28回松川町音楽祭が開催されました。
松川町の音楽団体の発表の場をつくることも、町民が生音楽にふれる機会をつくることを目的に開催された音楽祭は少し肌寒くなった秋の陽気に熱気と感動を与えてく

れました。
公民館社会部部长である私は主催者側での参加でしたので事前準備から関係者の方と打ち合わせを重ね無事音楽祭本番が成功に終わる様、部員の皆とチカラを合わせて準備を行いました。
昨年の反省も踏まえ椅子の



配置や当日の演奏者の方の動きなど念入りに確認し迎えた当日、天候にも恵まれて老若男女大勢の方にお越しいただきました。



音に酔い



いざ音楽祭が始まるとすぐにその音のすばらしさに引き込まれていきました。

前半は合唱の発表でしたが小学生とは思えない歌の上手さに耳を奪われたり、私の保育園時代の担任であった先生がコーラスでソプラノを担当していたのですがすばらしい高音に驚きを隠せませんでした。当時もあんなすばらしい歌声で歌を私たちにうたってくれていたのかと思いましたが

もう30年以上も昔のことだとさすがに思い出せないのが残念です(笑)

後半は吹奏楽でしたがこちらも普段練習されているだけあって上手い!!

つつい音楽を聴きながら身体がリズムを刻むように動いてしまう自分がいました。私も小学生の頃、金管バンドでトランペットを吹いていたこともあり、少し当時を思い出しながら演奏を聴いてい

ました。
松川吹奏楽団の方々の演奏では決して多くない人数ではありながら、何十倍もの人で演奏しているかのような迫力に圧倒されてしまいました。
無事一通りのプログラムが終了し片付けをしている際に演奏者の方の一人と言葉を交わしたのですが、「すばらしい演奏でした」と言うところからこそすばらしい音楽祭をありがとう」と言っていただけで嬉しかったです。
部員の皆とがんばって準備した甲斐があったなと思いました。



と同時にやはり今回音楽祭を開催するにあたり演奏者の方を始め、公民館他部の方々の協力あつての成功だと思えますので、本当に感謝しています。
ありがとうございます

松川町民体育館に鳴り響いた色彩豊かな旋律に酔いしれた一日でした。
来年はぜひより多くの方にこの感動を味わっていただきたいとそう感じました。

公民館社会部部长
細田 勲



見えた！上がった！のろし体験

公民館 地域を知る講座

公民館の地域を知る講座の一つ「のろし体験」が9月2日に台城公園で行われました。のろしは火や煙を使う通信方法で、古代の中国では狼の糞を使っていた（狼の糞は煙がよく立ち上る）そうです。

今回の体験では、地元古町の皆さんの協力で、スギなどを使ってのろしを上げました。

また、狼の糞は手に入らないため、代わりに鶏糞を使つてのろしを上げる試みもありました。講師の酒井幸則さんは「材料を変えることで、煙の色や立ち上り方が変わるかもしれないので、燃やしていいものであればいろいろと試してみるのがおもしろい」と話されています。

この「のろし体験」は上下



伊那の各所で同時に開催され、ほかの場所の

のろしが見えたら自分たちものろしを上げます。今回は

中川村の陣馬形山ののろしを確認して点火しました。そして、台城の



のろしがあがると、南の高森町からものろしが上がりました。こうして次々とこのろしが上がり、飯田市の水晶山ののろしまで台城から見ることができました。

のろしは戦で使われ発展したものであることを忘れてはいけません、今回は昔の通信手段という部分に着目し、これを学ぶことで、

今の通信手段がいかにあったかを知る講座となりました。

まつかわ大学第2講座 福島第一原発14km地点で売れない牛300頭を飼いつける理由

希望の牧場 吉沢 正巳氏



「政府は原子力発電所を次々に復活させようとしているが、本当にそれでいいのだろうか？」

「第二、第三の福島の悲劇が身近に起きないと日本人は福島島の悲劇が本当に分からないのだろうか？」

福島県浪江町で300頭の被ばく牛を飼いつける吉沢正巳さんは、

私達に強くこう問いかけられました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で高さ15



mもの大津波が押し寄せた東京電力福島第一原子力発電所は全ての電源を失い、原子炉を冷却できなくなったため爆発し、大量の放射能物質が拡散するという重大な原子力事故が発生しました。その時吉沢さんたちが飼っていた牛も被ばくしました。住民全員が避難指示を受け、吉沢さんも非難しなければならなかったのですが、

「俺たちは牛飼いだ。牛を見捨てることはできない」と牛を飼いつけています。中には被ばくの影響かその後皮膚に斑点が出る牛もいて、被ばくした牛がその後どのように生きながらえるのか研究対象にしてほしいという取り組みも現在しているそうです。

東日本大震災後6年半経つても、多くの人が仮設住宅に住ん

でいたり、以前住んでいたところに帰ることができないでいたりする人も多くいます。

「浪江町は避難解除されたが、山の中にはいっぱい放射能が残っており、大きなダムの底には放射能がたまっている。ダムの底なんて除染はできない。」

『おかえりなさい浪江町』と町役場は言うが『跡継ぎのない町浪江町』さよなら浪江町』というのが現実だ。『今の日本は福島犠牲の上に成り立っている。熱しやすく冷めやすく、忘れやすい日本人よ、俺たちの話を聴いてどう思う？』

「もよう眺めや待っていてはだめ。国民の実力が試されている。」

吉沢さんのお話をお聞きして東日本大震災に関連した福島第一原子力発電所の事故や今なお苦しんでいる方々の状況の一部を知ることができました。福島島の悲劇は今後どこにでも起こることだと思いません。

私たちは吉沢さんの生々しい実体験の話をごのように受け止め、今後防災や電力の問題等どうしていけばよいか深く考えさせられました。

平成29年度 まつかわ大学 第12期 第3講座

藤田紘一郎氏 講演会

免疫力をつける生活

きれい社会の落とし穴 ～アトピーからガンまで～



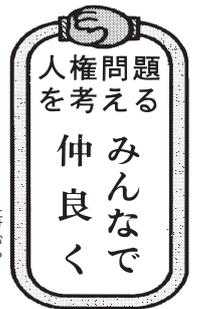
寄生虫博士、カイチュウ博士として
テレビや書籍マンガでもよく知っている
藤田紘一郎先生が免疫力についてお話し
くださいます。

- ◆開場 / 12:45
- ◆開演 / 13:00～15:00
- ◆松川町中央公民館
えみりあホール

12月2日

友だちに
言われてうれしい
ありがとう

北小学校3年 竹村かのん



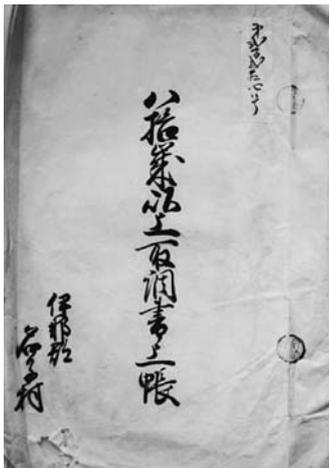
ケンカして
なかよくしたら
友だちだ

北小学校3年 佐々木 羚太

ともだちは
ゆうきをくれる
ヒーローだ

北小学校3年 岩崎 楓可

松川町今昔 資料館だより 第16回 「明治初期の高齢者」



名子区有文書の中に、明治元年（1868）11月に名子村の村方三役が、飯島にあった伊那県役所に、70歳以上と80歳以上の高齢者を報告した書類が入っています。9月8日に慶応から明治に年号が変わったばかりですが、幕府代官所の時と変わらない上申体制が続いていることがわかります。この文書を開いてみると、名子村の70歳以上の人たちの個人名と年齢が書かれています。

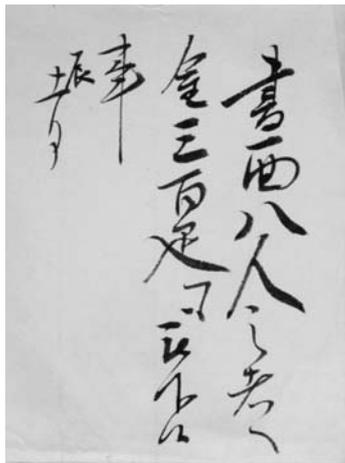


70歳から79歳までの人は全部で42人いて、男女それぞれ21人ずつ書かれています。80歳以上の人は8人で、男3人女5人です。最高齢は2人の女性で83歳です。2冊の帳面

の最後に、小さな付箋が貼られています。それを読むと、書上げられた高齢の人たちに、いくらかの報償金が渡されたことがわかります。70歳以上の人たちには銭200疋（文）、80歳以上の人たちには銭300疋（文）となっていました。なぜこの時期に各村々に高齢者を報告させて報償金を渡したのでしょうか。はつきりしたことはわかりませんが、時代が激しく変化して、いろいろ批判的に見る人々も多くなったことから、なんとか懐柔し、新しい政府に従わせようと考えたのではないかと思います。

この明治初めのころ、名子村の人口はどのくらいであったかという点、明治7年（187

）の史料によると、1282人で男621人女661人でした。そうすると70歳以上の人は50人です。人口の約4%だったことがわかります。明治7年に大島3か村が筑摩県へ提出した合併願書によると、上新井村は694人、古町村は386人で、3か村合わせると2362人でした。合併して元大島村にな



松川町資料館

伊坪 達郎

スポーツ振興くじ助成事業
第3回 南信州まつかわ
ハーフマラソン大会結果
 スポーツCLUB
 

〔総合〕

※太字は町内参加者

ハーフマラソン男子

- 第1位 岡田 健志
- 1時間13分43秒

- 第2位 伊藤 洸介 (奈良県奈良市)

- 第3位 向山 孝 (長野県飯田市)

- 第4位 伊東 和也 (埼玉県さいたま市)

- 第5位 小櫃 裕太 (長野県売木村)

- 第6位 松山 克敏 (埼玉県杉戸町)

ハーフマラソン女子

- 第1位 井野 光子
- 1時間19分22秒

- 第2位 伊藤 恵梨 (大阪府大阪市)

- 第3位 長坂 恵子 (愛知県大府市)

- 第4位 中村 麻季子 (愛知県豊田市)

- 第5位 松原 有沙 (愛知県名古屋)

- 第6位 嶋田 富美子 (愛知県愛西市)

5 km 男子

- 第1位 関口 修 (愛知県岡崎市)
- 16分42秒

- 第2位 出澤 周大 (埼玉県川島町)

- 第3位 林 豊 (長野県駒ヶ根市)

- 第4位 高木 大 (長野県箕輪町)

- 第5位 加藤 金市 (愛知県豊田市)

5 km 女子

- 第1位 兼松 藍子
- 18分42秒

- 第2位 杉浦 美由紀 (愛知県名古屋)

- 第3位 後藤 充代 (愛知県蒲郡市)

- 第4位 坂元 夏希 (愛知県名古屋)

3 km 男子

- 第1位 宮澤 柊太
- 10分35秒

- 第2位 熊谷 航陽 (長野県飯田市)

- 第3位 笠原 滉太 (長野県下條村)

- 第4位 小澤 夫暉 (静岡県浜松市)

- 第5位 宮内 達矢 (静岡県浜松市)

- 第5位 大村 育代 (長野県辰野町)

3 km 女子

- 第1位 坂元 唯花
- 10分38秒

- 第2位 岸本 美咲 (京都府舞鶴市)

- 第3位 濱本 美憂 (愛知県刈谷市)

- 第4位 原 亜真乃 (長野県飯田市)

- 第5位 梅木 莉子 (長野県下條村)

〔部門別 (町内参加者)〕

ハーフマラソン

40歳以下男子

- 第1位 松山 克敏

5 km

中学男子

- 第2位 中島 快都

- 第5位 北村 隆之介

- 第6位 小山 夕輝

高校生以下女子

- 第2位 片桐 美那

30歳以下女子

- 第4位 遠山 安都子

大会に際しましては、自治会や各種団体の皆様のご協力をいただき深く感謝申し上げます。
 (実行委員一同)



第41回 名子地区
区民演芸会
 11月12日(日) 9:30~15:00
 会場：町民体育館トレーニングルーム
 ●演芸会スタート…9:30~
 ●クラブ展示……………11日 13:00~
 ●ダンス、舞踊、歌、演奏等



情報 第33回
松川町駅伝大会
 11/5日 9:10スタート
 交通規制のご協力と応援をよろしくお願いいたします!



毎日が勉強です

松川町図書館司書 吉野愛那さん



今回の「ひと」は、4月から町図書館の司書になられた吉野愛那さん。本が好きで司書になりたかった吉野さんは、規定の単位をこなし司書の資格を取得。夢 fulfillment くらむ吉野さんの

前に現実の壁が…。各図書館の司書枠は決まっています、空きが出なければ司書としての活動はできない。そこで町職員の仕事しながら今回に至ったそう。「まだ慣れなくて…」と不安ながら嬉しそうにお話しされていました。こう書くと、司書としてのお仕事内容をしつかりインタビューしたようですが、実際には井戸端会議のような楽しいインタビューに。年の離れた妹弟に対しては「長女の私にとってメンバーや仲間の感じ

すね」と、ふわふわとした笑顔で答えてくれます。一番下の弟さんとは15歳離れているので、メンバーという表現も、言い得て妙！ですね。実は、お話をしていくうちに、吉野さんと娘が同年で知り合いたということが判明！人生相談のような、オバさんの人生訓示のような内容が時間の大半を占めてしまいました。(反省してます)

毎日勉強中だと言う吉野さんの、綿菓子のようなふんわり笑顔に会いに図書館にお出かけください。

8月24日・25日の2日間にわたり群馬県の前橋市にて開催された「全国公民館研究集会」へ参加してきました。今回は同郡内の阿智村公民館がこの大きな大会で発表を行うというので、下伊那郡内ほとんどの市町村が、阿智村さんの応援と自公民館へ活かす学習の為、参加しました。

すぼと

全国公民館研究集会へ参加してきました！

阿智村公民館の発表は分科会形式ということで、800名がそれぞれ希望する10の分科会へ分散します。その中でも阿智村さんの分科会は最も多くの人を集め、素晴らしい発表と多くの質問や意見が飛び交い、とても充実した会となりました。また青山学院大学教授による基調講演では、公民館事業における「主体」の喪失傾向への危惧について熱く講演がなされました。



短歌

森下 延子 (諏訪形)

B29の襲来告げるサイレンの
記憶甦るJ・アラートに

悪質な駄々っ子のような国ありて
それに騒めく世界の国々

蓼科の地元の子等に「你好」と
挨拶されて苦笑いする

パンダの子白黒はつきりなりたるに
依然灰色の学園問題 (森友・加計)

それぞれに良き個性もつ「朝ドラ」の人等に
今日も和みを貰う (ひよっこ)



ふんばつた

中央小3年 大嶋 祐貴

竹引きで

ほくのねらいは

三本竹！

短きより走

来年一位に

なりたいな

中央小3年 福岡 泰樹

助け合い

しょうりの道へ

走ってく

赤白は

みんながんばり

けつかをまつ

中央小3年 吉田 愛莉

赤と白

チームワークで

点をこれ

つな引きで

力いっぱい

ふんばつた





【体育館に自動販売機設置】



福与体育館、名子原体育館に自動販売機が設置されました！
 スポーツも文化活動も体が資本です、秋になったとはいえ、水分をしっかりと取ってこの季節の生涯学習活動をより一層充実したものにしたいだけだと思います。

声

上新井地区公民館 区民演芸会に参加して

松川自治会 岩井光昭

第40回目となる、上新井区民演芸会おめでとうございます。松川自治会壮年団有志が集まった7名のメンバーで至る9月18日(敬老の日)に行われる上新井区民演芸会を盛り上げようと話しがありがりました。8月下旬より、演目内容を話し合い、まず子供さんからお年寄りまで楽しめるものという事で腹踊りダンスに決定致しました。曲目はAKB 48さんの「ヘビローテーション」、衣装はインターネット

調へ準備を進めて行く中で「5分間」という時間の中で、どのように笑いを表現するかという壁にぶつかりました。そこで、ドリフターズのコントを混じえた、リンボーダンス、客席まで行ってお菓子投げ、お腹にゴムを巻いてのゴムパッチン、お客さんにも参加をして頂く事で時間を調整、ダンス内容では、ひと通りの案を作り踊りながら、総監督(自治会長)にビデオ撮影をしてもらい、一連の動きのチェック

ク、家族に来てもらってのお披露目確認をし、練習を進めて参りました。練習中は終始楽しく、時には一杯飲みながら、個々のお腹に顔を書き、上手、下手はさておいて、個性豊かな顔が出来上がると皆、ますます練習に気合いが入りました。最終チェックでメンバー一丸となりガッツポーズ。本番終了後、最高のパフォーマンスが出来、大喜び、最後に演芸を見て頂いた方々、皆様に盛り上げて頂き有難うございました。

是非、オファー待ってまあとす。(笑) 来年も参加させて頂きたいと思えます。

えみりあオープン1周年記念
フルーツリサイタル

- ◆日付 12月7日(木)
- ◆時間 18:00 (17:30開場)
- ◆会場 中央公民館えみりあ

※チケット制となります。
 お問い合わせは中央公民館まで。



公民館報
「まつかわ」
 第 648 号
 平成29年10月15日

発行所 松川町公民館
 責任者 小 沢 誠
 編集人 公民館編集部
 Tel 36-2622
 e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp
 飯田市上郷黒田121
 印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。

ジリジリ照りつける殺人的太陽も静かになり、季節は秋。秋といえば、スポーツ・読書・食欲などと相場は決まっているようですが、私の秋は読書。図書館通いで、図書カードを増やす事が嬉しかった物静かな文学少女は今も健在。特に漢字の読み方に関するクイズは大好きです。難読漢字といわれる字が読めた時などテレビの前でガッツポーズが出てしまうほど。

でも書く事は苦手で、今もこの原稿を、辞書代わりのスマホ片手に四苦八苦しています。

本を読む事は、漢字を覚えるだけではありません。文章の前後の意味で、使える漢字はこれじゃないか、と多くの漢字の中から選び出す事もできるように。

読書といっても、文学物を読む事は苦手な私。2〜3人は必ず殺されるミステリー。思わず本を閉じてしまつようなホラー。時には艶っぽい物も…。マンガが一番手に取りやすいですね。お勧めです。

今回、特に意識して漢字を多用してみましたが、やっぱり「かな(仮名)」文字の方が、やさしくて好きです。

以上、文学オバさんでした。
 宮下 和子